

令和7年

第11回岩沼市教育委員会（定例会）

会議録

- 招集日時 令和7年11月6日（木）午前1時30分
- 招集場所 岩沼市役所6階 第一会議室
- 出席委員 及川浩市・南館公雄・山田芳弘・江里美穂子・木村紀子
- 欠席委員 なし
- 説明のために出席した者

教育部長兼市民図書館長事務取扱	遠藤 大輔
生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長	渡辺 里美
学校教育課 副参事兼指導主事	小山 朋大
課長補佐兼教育総務係長	山下 真理子
学事係長	佐藤 旬
主査	小林 優
生涯学習課 課長補佐兼文化財係長	川又 隆央
課長補佐	菅原 聡
主幹	高橋 脩一
生涯学習係長兼スポーツ振興係長	木幡 祐貴
市民会館 事業係長兼管理係長	武田 千明
中央公民館 主幹兼社会教育係長	高橋 広志
市民図書館 管理監	栗野 和彦
主幹兼管理係長兼図書係長	相澤 秀樹
- 傍聴者 1名
- 本委員会の書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子
- 開会 午後1時30分
- 閉会 午後4時30分
- 会議録署名委員 山田芳弘・江里美穂子

## 及川教育長

令和7年第11回岩沼市教育委員会定例会を開会いたします。本日の会議録署名委員ですが、今回は山田委員と江里委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

まず、事務局から事務報告をお願いします。

### 遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

先般ご案内した市民懇談会には多くの方にご参加いただき、盛り上がりのある会になりました。ご参加いただいた皆様に改めて御礼申し上げます。

次に、令和8年度予算編成方針についてご報告します。今回の予算編成は、前年に引き続き「枠配分方式」を基本とした編成方法で進められております。教育委員会に対する配分額は、9億6,266万9千円の枠が示されております。同方針では、行財政改革を断行する姿勢を堅持し、日常業務の見直しや無駄の削減を求めています。特に物件費については、前年度比99%程度の枠にする拘束がかかっており、非常に厳しい編成環境になっております。事務局としてもこの枠内で優先順位をつけた予算要求作成に努めております。この後、各課から詳細を説明させていただきます。

その他の報告として、高知県南国市訪問についてです。11月5日から11月7日の日程で、市内小中学校から各校1名ずつ参加する形で、児童生徒8名と教員等引率者8名で訪問団を編成し、昨日より訪問を実施しています。児童生徒の交流を通し、防災学習に関する情報共有と防災に対する考え方や様々な取組を学ぶことで、自身の考えを広げ、深めるものになることを期待しています。本日は、一丸学校教育課長が団長のために不在ですが、代わりとして小山指導主事が出席しています。帰着後に改めて報告いたします。

それから、就学時健康診断は、9月25日、10月9日、10月30日の3回にわたり実施し、対象児童324名に案内を行いました。実際の受診者は、それぞれ、113名、124名、77名、合計で314名の受診を確認しています。受診できなかった方には個別に御案内を行っています。健診の際には、養護教諭や栄養士等による事後指導も実施し、保護者の不安解消に努めています。

私からは以上です。

### 小山副参事兼指導主事

学校教育課からは、報告が2点、また前回の定例会でご指摘いただきましたことについての説明が1点ございます。

まず、報告の1点目として、10月22日に行われました就学指導審議会についてです。この日は審議会に対し、教育委員会から来年度の児童生徒の適切な就学先について諮問し、新就学児童を含め計138名の就学先についての協議が行われました。子供本人や保護者の意思を最優先に、医師や保健師、各校の特別支援コーディネーターが、それぞれの子がどの環境なら最も伸びるのかを念頭に置いて話し合いを行いました。ほぼ全ての子について適切な就学先の判断に至りましたが、判断保留となったものについては、後日持ち回りでの審査を行うこととしております。

2点目です。10月24日から11月5日まで、市民図書館で只野文哉記念小中学生科学技術作品展が行われました。今年度は全部で52作品の応募があり、その中から市長賞、教育長賞、子ども科学技術賞、科学技術奨励賞の作品計26点が展示されました。会場を訪れた方から多くの感想が寄せられておまして、子供達の励みとなるような賞賛や励ましの言葉がありました。今後各校に紹介する予定です。また、展示されなかった他の作品に対しても「岩沼科学の芽賞」として賞状を26名に送付しております。

次に、前回の定例会でご指摘いただきました、中学校における授業時間の短縮についてご報告いたします。先般、各校に対して短縮授業の実施状況について報告を求めたところ、全校において一定の短縮授業を実施していることが確認されました。ご指摘をいただいたことについては重く受け止めており、改めて感謝申し上げます。つきましては、現在、各中学校の校長に対して、次の3点について指導を行っているところです。1点目は、今後50分を授業の基本として時間割を編成する。2点目は、各教科における授業内容の漏れや指導の未履行が生じないように、教育課程全体を見通して計画的に指導を進めていく。3点目に、これまでの短縮授業については、やむを得ない事情に伴う対応であると位置づけし、常態化させないこと。現段階において、授業時間短縮による教育課程の重大な遅れや内容の欠落を示す報告は上がっておりませんが、生徒の学習負担や学習保障の観点からも、引き続き慎重に対応してまいります。

これらの内容については、来週11日の校長会で各校の状況を確認し、さらに詳細に調整する予定です。また、12月9日には教務主任者会がございまして、来年度の教育課程編成を含め、改めて「1コマ50分」を基準とすることを周知徹底する方向で確認する予定です。併せて年間の授業コマ数の確保についても再確認いたします。

以上の方針のもと、学校教育課では各校の実態調査を行い、その結果に基づき必要な指導を行ってまいります。ご指摘をいただきありがとうございました。以上です。

#### **渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

生涯学習課から3点、ご報告いたします。

1点目、10月25日土曜日に開催しました「2025いわぬまスポーツフェスティバル」についてです。今回で3回目となりましたが、今年は、特別ゲストに東北楽天ゴールデンイーグルス元選手の銀次さんをお迎えし、様々なスポーツを体験できるイベントで、当日は約350人の参加をいただきました。市体育協会やスポーツ推進委員、スポーツ少年団関係団体、仙台大学など多くの方々のご協力、また参加賞・抽選会等で地元事業者の皆様のご協賛をいただきました。子供からご高齢の方まで気軽にスポーツに親しみ、楽しめるイベントとなりました。また、午後からは、市内の中学生を対象に野球教室を開催しました。約30名の生徒が参加し、銀次さんの分かりやすい、熱の入ったご指導を直接受けることができ、貴重な体験そして大変良い機会となりました。

2点目、10月20日、23日、27日に開催した、岩沼に愛着を持つ人材育成事業「はらこ飯を味わおう」体験についてです。今年度は岩沼中学校3年生を対象にクラスごと3日にわけて家庭科室で実施しました。秋の郷土料理はらこ飯について、地域の方々からご説明いただくという形で始めた本事業も今回で10年目となりました。

今年は、鮭が不漁で高騰していることもあり、テレビ3局が取材に来ていただきました。生徒は鮭の解体、はらこの取り出しなど一部体験させてもらい、また一匹の鮭をさばく様子や調理の仕方、歴史など熱心に聞き入っていました。元栄養士で岩沼の小中学校で勤務していた三品美智子さんと元調理員さん、そして玉浦の森景商店さんのはらこ飯にまつわる楽しい話を聞いた後、試食では新鮮な食材なので残す子もなく、笑顔で完食していました。鮭の高騰でなかなか家庭でも食べられなくなったはらこ飯ですが、子供達にこれからも継続していきたい事業です。

3点目、秋の里山体験学習がグリーンピアを会場に、小学1年生対象で開催しました。10月21日南小88名、翌日22日岩沼小62名、24日玉浦小60名の計3回、約200名の児童といわぬま森のサポーター、グリーンピア森の散策会の2団体の協力をいただきまして、地域と学校の協働活

動として実施いたしました。なお、11月中旬に予定しておりました西小の学習につきましては、全国的に毎日ニュースにも出ています熊の心配がありますことから、文部科学省からの通知もあり熊対策として安全を期して中止といたしました。以上となります。

### 及川教育長

隣の名取市では先週末、十三塚公園付近で熊が出没し、道路封鎖などの対応が取られたと聞いております。幸い被害は出ておりませんが、今後、岩沼市でも注意が必要です。花山や蔵王といった社会教育施設の利用が今後どうなるか、関係機関からの情報提供を受けつつ、保護者の皆様の意向を伺いながら、小学5年生の合宿や中学生の体験学習などの事業継続が可能か等について、検討してまいりたいと考えています。

山田委員からご指摘いただきましたことで、短縮授業の実態が見える形で明らかになりました。幸い現時点で教育課程の遅れは確認されていませんが、来年度の教育課程を編成する際には、計画段階から望ましくない時間割編成を行わないよう、しっかり指導してまいります。また、来週には2市2町の教育長会があります。他市でも同様の課題があるかもしれませんので話題として出し、情報共有していきたいと思えます。

議事に入る前に、5番目のその他について、委員の皆様から何かございますか。

### 山田委員

前回の定例会でお話がありました、市内の教育施設訪問について意見を述べさせていただきます。

まず、教育委員による施設訪問をなぜ行うのかという点についてです。教育委員会必携には「教育委員会における審議を活性化させ、地域住民の意見を反映させるための方策の一つとして、所管施設の訪問等の取り組みが有効であり、この機会を積極的に設ける必要がある」ということが明記されています。従来から、ほとんどの市町村で各小中学校の施設訪問を行っており、岩沼でも同様に訪問していたと思えます。審議を活性化させるために、どのような施設訪問をすることが適切なのか考えると、私としては学校の負担軽減の面からも、教育委員会として特に課題となっている分野の現場を見学・確認し、話し合いをさせていただくことが有効ではないかと考えています。

今年度は部長が提案された訪問先で良いかと思えますが、次年度以降の訪問についてです。やり方としては、委員の負担がかからないように、定例会を午後1時30分から2時30分までにしていただき、3時から4時まで施設訪問にするという形もあると思えます。訪問先の候補としては4点あげます。

1つ目として、教育目標である学力向上に関し、岩沼市の学力向上推進委員会会長であり、学力向上のために少人数指導も取り入れている、岩沼小学校の校長先生のお話を伺う機会があればと思えます。また、学力向上推進事業で行っている学び塾も見学させていただきたいと思えます。現場の実際を見ることで、効果や課題を理解しやすくなると思えます。

2つ目として、玉浦小と玉浦中で今年度開始したコミュニティ・スクール事業です。地域、保護者、学校が連携した運営を実践されていることだと思えます。昨年度の文部科学省の調査によると全国では約6割が導入済で、仙台市では100%導入していると聞いています。岩沼でも今後、対象校が拡大していくことだと思えますので、早期に実態や課題を把握しておくことが重要です。課題の一つとして、管理職には関心があっても一般の教職員はあまり関心がないことが言われています。実際に管理職の方に話を聞いて、コミュニティ・スクールの推進に少しでも関わられたらと思えます。

3つ目として、子どもの心のケアハウスです。施設が手狭であるとの指摘もあり、また進路面に

についても確認したいと考えています。

4つ目として、特別支援学級についてです。市内の特別支援学級の在籍者数は、小学校で80名3.6%、中学校で41名3.3%と、かつての約1%から3倍に増えています。なぜ増えているのか。また、在籍児童生徒の増加に伴う支援の変化についても、現場を見て理解することも必要だと考えます。

以上、教育委員会の定例会をより活性化させるための一つの参考案として申し上げました。すべてを実施してほしいというものではありませんが、今後の検討材料としていただければと思います。

#### **及川教育長**

ご意見ありがとうございます。今後の施設訪問の計画について、いただいた意見を参考にしながら、可能な部分を取り入れて進めてまいりたいと思います。

他に皆様からございますか。

#### **木村委員**

はらこ飯体験の実施状況についてお伺いします。今回で10回目とのことでしたが、これまでどの学校でどのくらい実施されてきたのか教えてください。

#### **渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

当初は全校で実施していたのですが、その後、予算の関係で毎年1校ずつ輪番という形に変更されました。

#### **木村委員**

以前、玉浦中で実施した際、経験したことがあるために鮭の扱いの手際が良かったという報告があり、実施校に偏りがあるのではないかという意見があったと思います。今年は岩沼中学校で実施されたということですが、来年はどこで行う予定なのか伺います。

#### **渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

来年度は岩沼西中学校での実施を予定しております。

#### **木村委員**

ありがとうございます。

続いて、先ほど山田委員から提案のあった施設訪問に関して意見を述べます。

「課題のある取組や現場を訪問する」という考え方は納得ではありますが、課題の抽出が一方に偏らないようにしていただきたいと思っています。現在の議論では、どちらかというところ「困難を抱える子」「学習環境が整っていないケース」など、“できない状況”に焦点が当たりがちな印象があります。しかし、教育委員としては、“できている子”“成果を上げている学校”の状況を把握し、その背景を共有することも大事だと考えます。

子育てに例えると、2人子供がいて、片方の子が“できない子”の場合、どうしてもそちらの子に注目が集まりがちですが、“できる子”にもその子なりの声かけや関わりが必要で、子育てにおいて気を付けなければならないことです。

教育現場でも同じで、「困難を抱える子」が注目され、資料等も課題のあるものについてばかりに集中しがちだと思います。“できている子”についても褒める環境が大事だと思いますし、成果を上げている環境の理由を確認し、成功事例として広めることも教育委員会の役割だと思います。

したがって、施設の訪問先を選ぶ際には、課題のある取組と成果が出ている優良な取組の両面を公平に扱っていただきたいと思います。

## 遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

ご指摘の通り、課題のある点だけに偏らず、成果を上げている取組にも目を向けることは重要だと認識しております。いただいた意見を踏まえ、今後の施設訪問については、多面的で公平な視点を取り入れながら検討を進めてまいります。

## 及川教育長

戻りまして、4番目の議事に入ります。

議案第24号 令和8年度岩沼市教育費予算（案）についてお諮りします。

【遠藤大輔教育部長兼市民図書館長事務取扱、渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長、栗野和彦市民図書館管理監、相澤秀樹主幹兼管理係長兼図書係長 午後2時04分着席】

## 遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱

それでは、令和8年度に向けた教育部の予算方針についてご説明いたします。お手元の資料1頁の「部方針書」をご覧ください。

まず、部の基本方針ですが、「全て年代の市民が生涯にわたり学び続けられる環境や基盤を整備することにより、生涯学習社会の実現を目指す」という理念のもと、事業を進めてまいります。

令和8年度において特に重点的に取り組むのは、「児童生徒の学力向上」「心豊かな人間性の醸成」の2点であり、令和7年度に引き続き、強力に推進していく方針です。そのためにすべきものとして7項目列举しております。

その中でも、1点目の学力向上の確かな定着に向けた取組としては、令和7年4月に発行した「学力向上の着実な推進に向けて」を引き続き活用し、児童生徒の自立性・主体性を高め、自ら学ぶ姿勢の育成を重視して進めます。学力向上は学校だけでなく家庭の協力も不可欠であり、保護者への働きかけも継続してまいります。

また、学力の3要素である「知識・技能、思考力・判断力・表現力、人間性」のすべてにおいて、全国平均以上の水準を目指すという目標を令和8年度も継続します。

3点目の子供達の快適な学習環境整備と施設長寿命化対策については、岩沼西小学校の校舎長寿命化改修工事を3か年計画の最終年度として実施します。今年度で外壁等の改修が完了したため、来年度は電気設備・機械設備など内部機能の更新を中心に行う予定です。事業規模は例年どおり約2億円を見込んでいます。また、国の7年度補正予算により、学校施設改修が対象となる可能性があるため、情報を速やかに収集し、前倒しが可能なものは積極的に前倒しで予算化したいと考えております。

4点目のICT環境を活かしたデジタル教育につきまして、現在、児童生徒が使用しているタブレット端末は、耐用年数である5年を過ぎ、更新が必要となります。機器の状態としては、端末本体よりも、特にキーボードの損耗が著しく、予備機も不足している状況です。更新費用を含め、必要なICT経費を令和8年度予算に計上する方向で検討しております。

また、学び塾の開催、ALTや補助教員等の配置など、学力向上のための人的支援についても継続して充実させてまいります。

各課の課題と対応方針については記載のとおりですので説明は割愛させていただきます。

以下、各課で説明を行いますので、ご審議のほどよろしく願いいたします。

## 相澤主幹兼管理係長兼図書係長

(令和8年度市民図書館予算案について説明)

#### **及川教育長**

市民図書館関係につきまして、ご質問等があればお願いいたします。

#### **江里委員**

今年、昨年の会議でのご意見を受け、秋休み期間中に図書館の自習スペースを開放していただいていたと思います。学校からの案内もありましたし、図書館によく行くので掲示を見て気づきました。この取り組みに伴い、何か追加の費用が発生したのか確認させてください。

#### **相澤主幹兼管理係長兼図書係長**

経費の増加は特にございませぬ。職員のシフト調整のみで対応しております。

#### **栗野和彦市民図書館管理監**

今年度は、実質5日間の秋休み期間のうち、10月14日と土日、祝日の4日間、1階エントランスホールと2階自習室を開放しました。広報としては、ホームページの掲載、館内と市内全小中学校へのポスター掲示を行いました。

その間の来館者数は17名で、そのうち中学生が4名、小学生は0名でした。

#### **江里委員**

経費が発生していないのであれば、来年度も継続して開放していけるのではないのでしょうか。

#### **栗野和彦市民図書館管理監**

今年度は試行という位置づけでニーズを把握しましたが、結果を見ると利用が伸びず、来年度の実施は慎重に検討したいと考えています。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

経費はゼロではなく、職員のシフトを調整して実施しておりますし、施設の運営経費は発生しています。

#### **山田委員**

就学時健康診断には、養護教諭などの県費職員が加わっているように、市民図書館でも学校図書館司書との人事交流を兼ねた運用といったことができないものかと思います。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

勤務条件や労災の関係もあり、整理が必要です。確認させていただきたいと思います。

#### **木村委員**

1年目で成果が出ないのは当然です。会社でも初年度から利益が出ることはなかなかありません。市として「子育て世代に優しいまち」を掲げている以上、今年の利用が少なかつたからといってネガティブに捉えるのではなく、広報を充実させて、継続して取り組むことで浸透させるというプラスの姿勢が必要だと思います。ぜひ、来年度も継続の方向で検討していただきたいと思います。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

ご指摘のとおり、広報の方法や告知時期に改善の余地があったと思います。1年目の実績から決めつけてしまうのではなく、検討材料として受け止め、次年度以降どうするか考えたいと思います。

#### **山田委員**

細かい点ですが、課方針書に書かれている「複合施設」という表現について、一般的には図書館以外の用途を併設する施設、例えば名取市の図書館や仙台市のメディアテークなどで使われていますが、岩沼市については少し違和感があります。単独と言っても良いのではないのでしょうか。

### **相澤主幹兼管理係長兼図書係長**

文化財の「ふるさと展示室」「市史資料室」があることから「複合施設」と表現しています。

### **山田委員**

なるほど。分かりました。

### **及川教育長**

秋休み期間の開放については、利用状況や課題を踏まえて来年度の取り扱いを検討するという  
ことで、市民図書館の予算案について、この内容でご了承いただいでよろしいでしょうか。

### **各委員**

(了承)

### **及川教育長**

令和8年度市民図書館の予算案について了承することといたします。ありがとうございました。  
(午後2時23分終了)

【遠藤大輔教育部長兼市民図書館長事務取扱、渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長、  
武田千明市民会館事業係長兼管理係長、高橋広志主幹兼社会教育係長 午後2時24分着席】

### **武田市民会館事業係長兼管理係長**

(令和8年度市民会館予算案について説明)

### **高橋主幹兼社会教育係長**

(令和8年度中央公民館予算案について説明)

### **江里委員**

個人主催の事業ですが、障害のあるお子さんが参加するピアノコンサートがありました。市民会館大ホールの車椅子スペース自体は十分に広く問題なかったのですが、保護者が近くの席に座れず、やむなく子供の横に座り込む形になっていました。

主催者も来場者層を把握していなかったという面がありますが、職員の方にお伝えできれば椅子の提供など対応できたのではないかと思います。今後、付き添い用の椅子が必要な場合には対応できる旨を提示していただくと助かります。

### **渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

車椅子席は4席分設定していますが、イベント規模や内容によっては不足する場合もあります。自主事業や文化事業協会では事前に人数を確認し、車椅子の方がいらっしゃれば配慮して対応しています。個人主催の場合も、事前の打合せ時に相談をいただければ可能な範囲で調整いたします。今後も配慮してまいります。

### **木村委員**

公民館事業の「寿大学」「松寿大学」の内容を教えてください。

### **高橋主幹兼社会教育係長**

高齢者向けの講座で健康に関するセミナーや運動、移動研修などを全6回で実施しています。

### **木村委員**

これらの講座に70万円近くの予算が計上されており、バス代だけでも20万円近く出ています。一方で、子供や子育て世代向けの講座は少なく、世代間の予算の按分が公平ではないのではないかと感じました。また、予算の削減を言われている中、高齢者の講座だけが高額という印象がありま

す。

#### **渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

子育て世代向け事業は主に子育て支援センターで実施しており、事業が重ならないよう、公民館では担当していないために偏りがあるように見えるかもしれません。

高齢者大学は教育分野として続けていますが、介護予防事業と重複しないよう調整しています。

#### **木村委員**

高齢者大学のバス代より市民図書館事業など、多くの方が使うところに予算を振り分けるなど、教育部内での調整ができるように思います。

#### **山田委員**

講座には同じ方が申し込まれているのでしょうか。

#### **高橋主幹兼社会教育係長**

リピートで申し込みされる方もいますが、応募が多い講座は初めての方を優先に、その後抽選を行っています。

#### **渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

高齢者大学には多くの申し込みがあります。学びたいというニーズはありますが、バスの搭乗人数も限りがありますので人数制限を設けています。

講師については、公的機関など講師謝礼を必要としないところに依頼するなど毎年工夫しておりますが、満額必要になった場合の予算として計上しています。

#### **木村委員**

利用者負担を考えてはいかがでしょうか。受益者負担の考え方からすると、バス代の自己負担を増やすことも検討すべきではないでしょうか。

#### **渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

受講者負担の増額については今後の検討課題とさせていただきたいと思います。参加人数によりバス代補助額も変動するため、自己負担のあり方について整理します。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

受講者の負担金の点、また、講座内容も毎年同じ内容ではなく見直しも行ってまいります。

#### **渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

子供向けでは単発講座があり、今年は、夏休みの親子DIY講座、にしき食品協力によるスパイスミックスづくり、親子でつくるお菓子の家などを実施しています。平日の開催は参加しづらいとの声もあるため、夏休みなど参加しやすい時期に企画し、実施しているところです。

#### **木村委員**

子供向けの講座にバスを利用したものはありますか。

#### **渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

公民館事業ではありませんが、子育て支援センターの事業でございます。負担金等情報共有しながら進めていきたいと思っております。

#### **及川教育長**

公民館講座は高齢者へ向きがちです。平日の企画は親子対象にすることは難しいと思われませんが、夏休みを中心に親子参加講座の企画に努めてほしいと思います。また、参加高齢者に負担を求めることや内容について検討して行ってほしいと思います。

## 山田委員

予算の話ではありませんが、資料にある「育成会」の運営について伺います。人手が足りず大変ではないかと思うのですが、市内の子供会は継続できているのでしょうか。

## 渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

子供会は年々減ってきている現状はありますが、4小学校区の育成会は引き続き活発に活動しています。子供達は育成会のイベントに参加しており、良い環境であると思われます。ジュニアリーダーのOBなど、熱心に活動して下さる方々がいらっしゃいます。ただ、岩小では子供会役員がないために、育成会役員になる方がいなくて大変だという話を聞きます。

## 山田委員

頑張っていたいており安心しました。今後も継続していただきたいと思います。

## 及川教育長

市民会館及び中央公民館の予算案について、ご了承していただいてよろしいでしょうか。

## 各委員

(了承)

## 及川教育長

令和8年度市民会館及び中央公民館の予算案について了承することといたします。ありがとうございました。

(午後2時49分終了)

【遠藤大輔教育部長兼市民図書館長事務取扱、渡辺里美生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長、川又隆央課長補佐兼文化財係長、菅原聡課長補佐、高橋脩一主幹、木幡祐貴生涯学習係長兼スポーツ振興係長 午後2時50分着席】

## 渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長

(令和8年度生涯学習課予算案について説明)

## 江里委員

東北大会・全国大会に多くの中学生が出場しており、大変頑張っている様子ですが、市の報奨金は東北大会が5,000円、全国大会が10,000円となっています。一方で岩沼西中学校では、これまで大会出場者に対してPTA予算から旅費を全額負担していましたが、全国大会出場が連続したため予算が枯渇し、来年度以降は対応が困難となっています。

周辺市町村を見ると、山元町や亘理町は岩沼市と同様ですが、名取市は旅費を全額支給しており、仙台市も手厚い支援があるようです。部活動の地域移行が進む中、合同チームなど様々な形態の参加が増えると予想され、他市との支援格差が生じる可能性が懸念されます。同じ合同チーム内で「名取市の子は旅費全額、市内の子は1万円だけ」という状況が生まれる恐れもあるため、市として報奨金のあり方を再検討してほしいと思います。

## 木幡生涯学習係長兼スポーツ振興係長

県内他自治体の状況を調査していますが、岩沼市と同程度の報奨金の自治体もあり、一方で報奨金とは別に旅費の補助を設けている自治体もあり様々です。

岩沼市では基金を原資にしていることから、それが無くなってしまわないように、より多くの子供を対象として「広く薄く」支援することを基本方針としています。全国を見ると、回数制限や大

会種別制限を設けているところもありますが、岩沼市では範囲を広く運用しています。合同チームやクラブチームであっても岩沼市に住所があれば対象としております。

委員ご指摘のように PTA の負担が厳しくなっている実情、今後の地域移行の進展による参加形態の変化も認識しており、今後のあり方について検討を進めたいと思います。

#### **江里委員**

名取市との格差によって、同じチーム内で負担差が出る可能性は現実的にあります。「全部出すのは難しい」ということは理解しますが、一定の見直しは必要ではないでしょうか。

#### **渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

「広く薄く」支援できているのも基金があるうちであって、中学生だけでなく大人が出場する際にも報奨金を出しています。旅費まで支出することは困難な状況です。

#### **及川教育長**

かつて西中では、駅伝の全国大会出場に対する支援として、地域で寄付金を集めて対応しました。そのおかげで、残金を活用した基金があり、これまで大会出場者へ支援してきました。現在は寄付による補填も難しく、財源には限りがあつて厳しい状況なのだと思います。とはいえ、子供達の努力を称える意義は大きいものです。市として「広く薄く」支援する方針をご理解いただきながら、今後の課題として受け止めたいと思います。

#### **木村委員**

スポーツ施設管理事業についてです。陸上競技場の 100m 走スタート位置のブロック付近が非常に痛んでおり、転倒の話も聞きました。小さな修繕を即時対応できる予算を確保し、危険箇所は早急に直してほしいと思います。

#### **渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

スポーツ施設管理事業の修繕料として、施設の細々した修繕に対応する予算を計上しています。

#### **木幡生涯学習係長兼スポーツ振興係長**

今年度、スタート部分は 8 月から 9 月にかけて修繕を実施済みです。スタート部分は定期的に修繕が必要になる場所ですので、今後は計画的に状態を確認し、早期修繕に努めたいと思います。

#### **木村委員**

陸上は怪我が命取りになる競技であり、利用者は「すぐ直してくれる施設」と「放置される施設」を敏感に判断する傾向があります。他市では古くても整備が行き届き、常に利用者が多い施設もあります。また、大和町陸上競技場では、夏に設置された日除けのカーポートが利用者から好評で、うらやましく思いました。

ぜひ岩沼の陸上競技場も利用しやすい、活気のある施設にしてほしいと思います。

#### **渡辺生涯学習課長兼市民会館長兼中央公民館長**

陸上競技場の路面材の特性から修繕には専門業者が必要であり、業者数も限られるため対応に時間を要する場合があります。今回の修繕で依頼できる業者が分かったので、今後はより早い対処ができると思われます。

#### **及川教育長**

報奨費の在り方、陸上競技場の安全管理についてのご意見を受け止め、検討と改善を進めたいと思います。

生涯学習課の予算案について、この内容でご了承いただいでよろしいでしょうか。

## 各委員

(了承)

## 及川教育長

令和8年度生涯学習課の予算案について了承することといたします。ありがとうございました。

(午後3時16分終了)

【遠藤大輔教育部長兼市民図書館長事務取扱、小山朋大副参事兼指導主事、山下真理子課長補佐兼教育総務係長、佐藤旬学事係長、小林優主査 午後3時25分着席】

## 小山副参事兼指導主事

(令和8年度学校教育課予算編成方針について説明)

## 山下学校教育課長補佐兼教育総務係長

(令和8年度学校教育課予算案について説明)

## 木村委員

教育指導支援事業の事業内容を見ると教育指導専門監・社会教育指導監の人員費がかなり大きい額になっています。これは何名分の経費ですか。

## 山下学校教育課長補佐兼教育総務係長

教育指導専門監3名、社会教育指導監1名の計4名です。

## 木村委員

4名でこの金額は、会計年度任用職員の中でもかなり高額だと思います。皆さん経歴が豊富な方々なのは承知していますが、具体的にどのような仕事をされているのでしょうか。

## 小山副参事兼指導主事

各学校の校内研究へ入り、授業参観と指導助言を行っています。また、初任者層支援として5年目程度の教員の授業訪問や困りごとの相談、指導法の助言も行います。事務局においても、学力向上施策の分析を文部科学省のデータや全国学力調査結果などから行っており、特に専門性が求められる業務を担っています。

## 木村委員

先生方の働きによって、より良くなる可能性があるということですね。責任と金額は比例すべきものと考えます。ご説明は理解できますが、その意味でも外部的な評価がないまま、これだけの額を毎年支出するのは妥当か、と問われるものだと思います。ALT6名の経費よりも高額です。学力向上を目標に掲げていることから、金額に対する成果が目に見えて出ているのかなど、外部評価も取り入れ、緊張感を持って対応してほしいと思います。

## 山田委員

教育指導専門監は指導主事と同じような仕事をされていると思います。他市の状況と比較すると、岩沼市に指導主事4名というのはい多い印象があります。例えば、白石市には指導主事はいますが学校教育課長は不在です。角田市には学校教育課長は常勤としていますが指導主事は不在です。岩沼市は指導主事に加えて教育指導専門監3名も配置しています。これを1名程度に減らし、残りを現場の補助教員や教育支援員へ回すべきではないでしょうか。現場支援の方が子供への直接的な効果が大きいと思われます。

## 及川教育長

教育指導専門監には、初任者からベテラン教員や校長にまで幅広く指導やアドバイスをさせていただいており、中堅研修・管理職研修などの研修にも関与しています。また、学校ごとの課題に合わせた助言など、非常に現場に密着した働きをしてくださっている貴重な存在です。私自身も相談させていただき、アイデアをいただいております。賃金に見合う責任と成果を出していただいていると考えておりますが、委員からのご指摘を踏まえ、今後も専門監の皆さんには緊張感を持って仕事に取り組んでいただけるよう伝えていきたいと思っております。

#### **木村委員**

帰国・外国人児童生徒に対するきめ細やかな支援事業の予算内容について伺います。

#### **山下学校教育課長補佐兼教育総務係長**

日本語に不自由な外国籍の児童生徒が入学してきたときの支援として、通訳やサポーターを派遣してもらうための委託料です。

#### **及川教育長**

以前は県の補助がありましたが、今年度から市単独負担になりました。外国籍の児童生徒が増えている中、支援のために市で準備しておく必要があります。

#### **木村委員**

先ほどから話が出ているように「広く浅く、公平に」という意味では外国籍の子供達にも平等に教育を受けてほしいという思いがある一方、日本国籍の今岩沼市に住んでいる子供達により良い教育をしてほしいという思いがあります。予算に上限がある中で、元々岩沼市に住んでいる子供達に我慢を強いてまで、すべての外国人児童生徒に配慮し、手厚く支援することが本当に適切なのでしょうか。岩沼市では「できません」と線を引き、それでも住みますかという選択肢があっても良いのではないかと思います。

#### **及川教育長**

外国人を排斥しようとか、そこまで補助を出さなくても良いのではないかと、というご発言ですが、岩沼市教育委員会としてはそのような考えは持っていません。岩沼市民として受け入れた以上、教育を受けさせたいという保護者の方のご意思であれば、できる限り応えてあげたいという考えで予算を組んでいます。できる範囲の中で可能な限り対応していくことを、岩沼市教育委員会としてこれまでもそうしてきましたし、今後もそうありたいと思っております。

#### **山田委員**

住民には教育機会を同じように提供しなければなりません。周辺自治体でも、外国籍の児童生徒がいる場合は通訳が週数回来ています。授業準備や連絡事項の確認など、基本的なコミュニケーションを子供や保護者と成立させるために通訳は必須です。市町村の姿勢が問われる問題ではありますが、一定の支援は不可避ではないかと思います。

#### **江里委員**

来年度予算案では、補助教員と教育支援員の配置員数は現状維持となっているようですが、小学校は手厚い配置である反面、中学校の支援体制が厳しいと感じています。

西中では、教育支援員2名で支援学級3クラスを担当しており、交流学級へ行く際には引率者が不在になっています。教室から飛び出してしまう子がいたり、それぞれの子のニーズが異なるために、人手が足りていない状況です。小学校から中学校に進級すると、急に支援が薄くなる印象です。

発達段階の差も大きく、むしろ中学校こそ手厚い支援が必要だと思われれます。ぜひ支援の職員数

増について検討してほしいと思います。

#### **小山副参事兼指導主事**

小学校は支援学級数が多いこともあって教育支援員を多く配置していますし、小学生の発達段階も考慮した配置をしています。中学校は県派遣の心のケアスタッフなどの外部人材や教科担任の空き時間もあるので、教職員の目はあると思っていますが、来年度は各校の状況を丁寧に聞き取り、必要な配置を検討したいと思います。

#### **及川教育長**

学校から希望を聞いて配置人数を割り振るのですが、これまでも予算枠を確保しても応募がなく埋まらないことがありました。昨今は講師採用などに人材が流れやすいという面があり、需要に対して供給できない状況が生じています。予算を増やせばすぐ増員できるというものでもなく、今の人数が落とし所ではないかと思っています。

#### **山下学校教育課長補佐兼教育総務係長**

年度途中の欠員があったため、現在も補助教員と教育支援員の採用募集を進めていますが、確保は非常に難しい状況です。

#### **江里委員**

学校現場では本当に困っていて、「誰かいませんか」と保護者に直接声がかかるほどです。

#### **山田委員**

コミュニティ・スクール事業の拡大について伺います。今年度1年間で玉浦小学校・玉浦中学校について順調に進んでいるように見受けられます。来年度は2校から8校へスムーズに広げてほしいと思います。運営に係る費用は十分にあるのでしょうか。

#### **小山副参事兼指導主事**

各地区15名程度を想定しているので、予算は現状の枠で収まる範囲と考えております。

拡大については、西地区など一貫した学区構造の学校は比較的導入しやすいと思われませんが、岩小から北中と岩中に分かれて進学する地区はどうするかなどいくつか課題があります。

#### **及川教育長**

国の補助金が来年度から変更され、設置学校の40%以上がコミュニティ・スクール化していないと補助金が交付されない方式へ移行するため、今までのように1校、2校だけの導入では補助対象外になってしまいます。仙台市はすでに全校が何らかの協働体制を持っていますが、岩沼市とは仕組みが異なることから単純比較はできません。「学校を通じたまちづくり」がねらいなので、市長の思うところもあり、教育委員会だけでなく市長部局とも連携し、擦り合わせをしながら進めていく必要があります。

#### **山田委員**

学力向上の観点からも、学びの場としての「学び塾」は非常に有効と考えられます。可能であれば、中学3年生向けに12月から1月の受験期に学習機会を拡充といった活用も検討してほしいと思います。

#### **小山副参事兼指導主事**

震災復興予算がなくなってからも「学び塾」を継続している市町村はなかなかありません。岩沼市の特色だと思っています。今年度からは小学校の開催回数を増やして実施しております。

大学生ボランティアの参加には大学側の規定が関わるので、単位になるため報酬が出るものは参

加できないとか、車通勤不可だから参加できないなど、いくつかネックになっている事項があります。擦り合わせをしながら支援員確保をし、児童生徒も「登録なし・予約なしでも気軽に立ち寄って宿題ができる場」という開かれた仕組みを目指したいと考えております。

#### **山田委員**

課方針書2頁目に「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」と書かれています。これは学力向上の最重要施策であり、何よりも授業時間の確保が前提です。自力解決の時間、話し合い活動の時間の双方を保障するには、短縮授業は行わないことが前提になります。ぜひ徹底してほしいと思います。

国では授業料と教科書の無償化をしており、さらに給食費のことが議論されています。就学に掛かるお金として、入学時の制服代やランドセル代の負担は大きいものです。就学援助費として、岩沼市では入学前準備金の支給を行っていますが、進級や行事における小規模な自己負担など、もう一步踏み込んだ支援ができないかと思えます。

また、特別支援教育就学奨励費は、在籍児童生徒の50から60%が対象者と聞いています。可能な限り全員が申請するように働きかけてほしいと思います。

#### **山下学校教育課長補佐兼教育総務係長**

就学援助の支援内容については、財政状況を踏まえながら検討したいと思えます。

特別支援学級に在籍している児童生徒の全世帯に文書を渡すなど、可能な限り申請するよう働きかけております。

#### **山田委員**

岩沼市は18歳まで医療費が無料です。そのため、これまで加入してきた日本スポーツ振興センターの保険やPTAの安全互助会保険など、従来どおり継続する必要があるのか疑問があります。学校事故の多くは、医療費が市の子ども医療費助成制度でカバーされることから、有効なのは「死亡・高度障害」の項目だけではないでしょうか。保護者負担900円弱の保険が本当に必要か、あるいはもっと安価で必要部分だけを補償する保険へ切り替えられないか、市として検討すべき時期ではないかと思えます。

#### **山下学校教育課長補佐兼教育総務係長**

学校災害賠償補償保険が日本スポーツ振興センターの上乗せ保険になっていることから、基本となる保険だと思われれます。保険内容を確認させていただき、必要があれば見直しを検討したいと思えます。

#### **及川教育長**

保険なので、医療費補助があつて手出しゼロにするのだけではなく、さらに保険金が出る面もあるようですね。安全互助会の一部だけ抜けることができるか不明なところですが、市P連で「現状に即した保険体系かどうか」など話題にしていいただければと思えます。

#### **南館職務代理者**

今年提供されたはらこ飯の鮭の味はどうでしたか。子供達に好評だったという声をお聞きし、こういった事業はとても大事だと思います。ただ、今年は鮭があまりとれず、来年は更に減るかもしれないと聞いています。場合によっては別の方策を考えることも必要と思えます。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

今年の鮭は「とても美味しかった」との評価をいただいています。子供達からも好評で、提供に

あたって大きな問題は生じていません。

#### **及川教育長**

互理町でも鮭がとれずに営業内容を変える店もあると聞いています。今後の事業のあり方について検討する必要もあるように思います。

#### **南館職務代理者**

はらこ飯の事業を継続し、ぜひ市の売りにしてほしいと思います。

幼稚園での健診に行った医師から欠席者が多かったとお聞きしました。感染者が増えている兆候なのか、対象園児 40 名に対し 14 名欠席とのことで、マスク着用など基本的な感染症対策を徹底してほしいと思います。

#### **及川教育長**

小中学校でも欠席者が多く、インフルエンザ流行の兆候が強く出ています。手洗いやマスク着用など基本的な感染症対策を改めて周知しております。また、幼稚園からも注意喚起が行われており、情報共有を続けてまいります。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

追加で報告させていただきます。給食費について、国が「小学生の給食費を無償化する」等の議論が行われていますが、現時点で国からの具体的な制度設計や財源提示はなく、情報は全く示されていない状況です。年度総額の目安は想定できるものの、どのような仕組みとなるか不明なため、財政課には「事項要求」の形で、制度が固まり次第予算要求する可能性がある旨を伝えています。

正式な方針が示され次第、委員の皆様にもご報告いたします。

#### **及川教育長**

学校教育課予算案についてご了承いただいてよろしいでしょうか。

#### **各委員**

(丁承)

#### **及川教育長**

令和 8 年学校教育課の予算案について了承することといたします。ありがとうございました。

事務局から事務連絡をお願いします。

#### **遠藤教育部長兼市民図書館長事務取扱**

事務局から 3 点ご報告いたします。

11 月 19 日に塩竈市で行われる仙台管内教育委員会研修会については、先にご案内したとおりです。委員の皆様から出席のお申し出がなかったことから、教育長が事務局職員を伴い出席いたします。来年度、協議会の事務局が岩沼市に回ってくることから、会場等の確認もしていきたいと考えています。

2 点目に次回の教育委員会定例会についてです。12 月 25 日木曜日に総合教育会議と併せて開催予定です。総合教育会議の議題として次の 3 点を軸に、市長と最終調整を行っております。①子どもの学びの質の向上、②不登校児童生徒への心のケア、③教職員の働き方改革の推進状況・取り組み状況の報告。今後、内容を精査し、資料が完成次第、正式に委員の皆様へ通知いたします。

3 点目として、教育委員による視察についてです。1 月定例会開催日の午前中に視察を実施する方向で調整中です。事務局案の視察候補として次の 3 点を検討しております。①登校支援専門員の活動状況、②ICT を活用した授業、③ALT の活動状況。学校給食の試食を経て、午後に定例会を

開催したいと考えております。内容や日程につきましては、12月の定例会時に改めてご報告いたします。

#### 及川教育長

長時間にわたりまして、様々なご意見をいただきましてありがとうございました。

以上で、令和7年第11回岩沼市教育委員会定例会を閉会します。お疲れ様でした。

(午後4時30分閉会)

この会議録の作成者は、次のとおりである。

学校教育課課長補佐兼教育総務係長 山下 真理子

上記記録の正確なることを認め、ここに署名する。

令和7年12月25日

会議録署名委員

小 日 若 丸

会議録署名委員

江里 美穂子

